

情報システム学会 第12回全国大会・研究発表大会開催報告

池辺正典（大会実行委員長 文教大学）

去る11月12日（土）、13日（日）に富山国際会議場におきまして、第12回全国大会・研究発表大会を開催致しました。本大会は、情報システム学会の設立に力を尽くされた故浦昭二先生（慶應義塾大学/新潟国際情報大学 名誉教授）の情報システム学確立に向けた熱意と功績を記念して設立した浦昭二記念賞が制定されてから初めての全国大会となります。本大会の会場において第1回浦昭二記念賞の表彰式が行われ合同会社 水野様「患者志向情報システム開発・活用による地域医療への貢献」と専修大学（魚田名誉教授他）「コンピュータ概論-情報システム入門（第6版）の出版と継続的な情報リテラシー教育の実践」に浦昭二記念実践賞が授与されました。

また、本大会は大学以外の会場における大会であったこともあり、地域に密着した大会テーマとして「富山から見える“地域社会と情報システム”の未来」を掲げ、富山という地域における情報システムの歴史やその発展を議論する場といたしました。

大会1日目は、一般発表29件と研究会報告5件のあわせて34件の発表が行われました。また、特別講演として堀田裕弘氏（富山大学工学部長）と石井貞行氏（株式会社インテック社会システム戦略事業部専務執行役員）をお招きし、堀田氏より「富山から発信する様々な情報センシングとその情報配信」、石井氏より「富山発、次世代社会インフラを支える情報システム」という演題にて講演をいただきました。各セッションともに活発な討論が行われ、情報システム学の発展に向けて有意義な意見交換の場とすることができました。

そして、大会2日目には、魚田勝臣氏（専修大学名誉教授）による「人間中心情報システムとしての配置売薬活動」のレクチャーをいただき、その後に、廣貫堂資料館にて情報システムとしての売薬業についての研修を行いました。

以上、2日間の日程による本大会には多数の学界、企業の皆様にご参加いただき、参加人数は85名となりました。また、本大会を開催するにあたり、ご協賛および後援を賜りました多数の企業様、団体様にこの場をおかりしてあつく御礼を申し上げます。